

風光



春闘期にこそ東海地本を!



福祉・保育の再構築のために
福祉保育労を大きく強く!

私たちは、署名を集め、国・自治体交渉で直接訴え、「権利としての福祉・保育を取り戻し利用者さんにとって質の高い実践をしたい。いきいきと働き続けたい。」と運動しています。

この声を国や自治体が無視できないほど大きな世論に高めていくためには、私たち福保労がもっと大きく、もっと強くなる必要があります。

今年も福保労中央組織部の呼びかけで、全国の仲間と共に「組織拡大キャンペーン」を実施します。昨年は群馬支部では全分会がエントリ、北海道では目標を掲げて飛躍的に拡大が進み、新分会の結成も。福岡では組織拡大会議を毎月開き、大きく仲間を増やしてきました。東海地本でもいくつかの支部や分会が取り組み、地本大会で表彰されました。

拡大キャンペーンを題材に
分会・支部で拡大を議論しよう

このキャンペーンを題材に、

自分たちの組織率を自分たちで把握し、分会や支部として組織拡大について議論することが大切です。「職場や地域に責任を持つ労働組合として、組織拡大にどう取り組むか」「ひとりのぼちの労働者をなくそう!」とい

う視点を大切に話し合い、取り組み、組合の仲間がいる心強さ・うれしさを一人でも多くの労働者に広げていきましょう。5月の代表者会議の中で拡大キャンペーンのスタート集会を行おうと考えています。

と書かれているだけでした。通勤手当の不備とともに年休についてあてに要望書としてまとめて休・通勤手当についても改善条件を守ってくれる組合だと伝えてくれたのです。

成果を守ることの大切さ

春闘・秋闘要求が私たちの新たな労働条件の整備であるなら、これまで勝ち取られてきた労働条件が守られているかどうかの視点も組合活動には大切なことだと、改めて私たちも考えさせられました。

お祝い金は、半分は組合に加入・未加入関係なく臨時職員さんの交流会に使ってもらいました。ここでまた、1名加入してもらうことができました。今後の課題は、臨職部会の充実です!(分会長 中村)

ひまわり保育園発 拡大の秘訣!?

昨年夏、組織拡大キャンペーンに参加してみないかとの執行委員からの提案。あと一人仲間を増やせばいいだけという。キャンペーン期間もあと2~3日。長年ひまわりで働いてもらってる臨時職員の方に、思い切って声をかけてくれました。すると加盟していいですよ!という嬉しい返事が。

福保労は守ってくれる組合

その嬉しい返事のきっかけになったのは、同じ短時間パートさんが組合の良さを伝えてくれていたのです。昨年(08年3月ころ)分会活動・春闘要求アンケートを取った際、通勤手当の不満、臨職さんの年休の取り方がわからないという声がありました。この意見に対して、就業規則を見直したところ短期職員の方には、労基法に準じ

風の音



この忙しい時期になんとわたしはインフルエンザになってしまった。しかし、インフルエンザになったことで多くのことを学んだ気がする。年明けからとにかく忙しくて超勤と休みなしで共にかんばって来た同僚に負担をかけることがとにかく辛かった。しかし、彼女は逆にわたしを心配し、わたしの休みの穴を埋め笑顔で保育所を切り盛りしてくれた。そのおかげで、わたしは本当に安心して休ませてもらうことが出来た。こうして信頼出来る同僚と出逢い、共に保育を作り、同じ目標に向かって楽しく働けることが何より幸せだと感じた。

そして、わたしを心配してメールや電話をくれた友人、職場は違うがパンやお弁当、フルーツなどを山盛り買い込んで駆けつけてくれた大好きな先輩...嬉しくて泣けてきた。わたしは本当に温かい人たちに囲まれて生きているのだと思つた。そして、今回のわたしインフルエンザになったという事件?は改めて、我が家が母子家庭であるという現実を突き付けられた気がした。わたしが倒れたら、我が家は大変なんだと身を持って体験し、実感した。

実は、子どもたちが文句も言わず母を助けてくれていることに甘えて離婚前と同じように保育の仕事以外の活動にも参加していけると思っていた。しかし、いつの間にか思うように動けない自分にストレスを抱えていたことがインフルエンザ・ウィルスに好かれてしまった理由かもしれない。しかし、今回、改めて保育所を守りながら、自分の生活を守っていくことをゆっくり考える機会を与えられた気がする。

まさにすべてのことには意味があるんだよねえ(笑) ウィルスにも感謝しなくては!! (つさぎ)

2009年1月31日(土) 18時
半より労働会館本館第1〜3会議室にて第16回地本委員会が開催されました。

各支部よりの地本委員・執行委員・オブザーバー合わせて86人もの参加で、活発な討議が行われ、保留4、賛成多数で09春闘方針案・統一要求は採択されました。

「いろいろな職場の状況が少しはわかり、勉強になりました。」
「短い時間でしたが、本当に密度の濃い内容でした。」等の感想が寄せられています。短い討議時間の中、質問が4、発言が13も寄せられ、各職場の状況・取り組みなどが発言されました。全てとはいきませんが、できる限り発言を紹介します。

①『新採用職員の勧誘』ぐま保育園分会 秋田安輝地本委員



昨年4月に正規採用され分会に入った。同期はみんな組合に入っていないが、父母の要求があり、理事会から休日・日曜保育を組合員は2回/年、非組合員には3〜4回/年という話になった。同期も組合に入っ

する予定。

②『市大どんぐり保育所の現状』名市大どんぐり保育所分会 宮地直子地本委員



平成22年4月には2つを統合した新保育所を開所。統合委員会が開かれていて、大学の先生等と共に保育内容などの検討を行っている。現在3回実施。

どんぐりの父母は、どんぐりが大切にしてきたことを理解してくれている。現在問題となっているのが、給食の自園調理について。大学の保育所はレトルト食を温めて出している。設備の問題などを理由に難色を示し、統合委員会で様々な意見が出たが、これまでの実績もあり自園給食の方向を求めていく。職員雇用条件については「雇用責任がある」と明言した。だが、コスト削減の可能性もあるので交渉を続けていく。今後具体的な案を提出。

③『職場保育所のこの間の経過について』城北くさの実保育所分会 岡村悦子地本委員



東市民、今年度当初委託金半期しかつかなかつたのが、延び延びで付き、やっと2月を迎えられたと実感した。職保部会の

地本委員会発言集

団結した思いうれしい。来年度東市民では24時間就学前保育が始まるので話し合いを重ねてきた。4月からの最大の問題は運営形態が変わる事。委託業者として企業の応募を除く事はできないが、自園給食・現職員雇用・保育の質・労働条件などを一定勝ち取り、企業が名乗りを上げられないようなハードルの高い仕様書を作らせてきた。交渉には父母も参加してくれた。企業だけは避けたい。

④『分会状況』ぐみの木保育園分会 市川地本委員



職場はとても忙しく、思いを聞くことも難しいが、年末に行った初の一泊の忘年会の中で様々な事が聞けた。今年度親元を離れて一人暮らしの職員が3人、母子家庭も1人いる。経済状況が厳しく、文化的な生活ができていない中で、人間らしく子どもを育てる事が今の給料でできるのか。法人側は冬のボーナスを全額(1.5)出せず、0.5は3月にだすからと、「派遣切りの蔓延する状況のな

か、「まだ屋根のある家で暮らせるだけでいいのかな...。」とも。だが、そういう風ではなく、夢を持って人間らしくいきいきと働きたい。

⑤『くさのみ保育園分会の歩みと足跡』くさのみ保育園分会 堀田直子地本委員



組合の意味、利点を分らずのまま組合加入していた様な状況でしたが、昨年、くさの実保育園開園にあたり、計5人の新規職員の起用・組合加入により、初めて「組合って何だろう?」の疑問に。地本から人を招き話をしてもらい、共通認識ももてた。この1〜2年で、様々な変更があったが、労働時間については事務時間30分を含めた8時間労働を2月から試行、職員の給食制も幼児指導食以外は弁当に。組合としては誰もが悩みや意見を言える雰囲気や意見を、月1回の分会で意見交換や交流を深めて来ました。

弁当制にあたり、休憩室の冷蔵庫やレンジの設置の要求が通ったり、一歩ずつですがこの1〜2年の分会活動の歩みが始まりました。

先日の分会で、組合の仲間が

健康サポート 一口情報

今年度、16の保育園が産業医契約を行いました。職場巡回の時には、分会から参加させていただきました。仕事上の指導・助言の他、事前に相談内容を伝えておいて、アドバイスを得たところもあります。

大切なことは、「産業医契約で職場の健康管理は万全!」ではなく、「産業医」の先生の指導・助言から、職場の健康課題を整理し、職場全体で議論することです。安全衛生委員会を機能させて健康対策・職場改善を討議する場を定着させましょう。

職対部では6月に太田先生を講師に学習会を予定しています。(地本委員会職対部発言参照)各位づけて参加してください。

いることの心強さと雰囲気の良いさが聞かれました。組合で守られている自覚も出てきました。まだまだ自分たちの日々の保育で精いっぱいですが、これからも今の雰囲気や大切に取組んでいきたいと思えます。

⑥『優全さくら保育園分会結成と闘争について』千種・名東支部 寺坂涉地本委員



昨年12月末に優全さくら保育園の田中さん・森さんの2名が組合に加盟し、分会を結成した。労使間ヒアリングで退職を促された事が理由だが、その理由も過去の他の園でもみられるよく

ある事故・過失を羅列した、一方的な物。組合結成し、団体交渉を続ける中で、2人をめいた会議を行ったり、団体交渉の翌日にも「辞めて貰う意志には変わりがない」等と不当労働行為を繰り返している。森さん呼び出し「契約書はあった。監査の時に（1年の契約書でない）と気付いて」個人的に破棄した」

「1年契約を口頭で了解した印を押して欲しい」等と言ったりもしている。

団体交渉では、退職の意志がないこと・不当労働行為をやめるように伝えた。あちら側は森



シリーズ・名物組合員

みなと福祉会分会

原 彩子

私は、みなと福祉会分会の原彩子と言います。

4月から働き始めて、組合という場所に出会いました。最初、とても温かく歓迎してくれて、もう最初から自分が全開に出せた場所でした。

仕事を始めて、みんなからいいキャラと言われます。作業所の

さんの雇用契約書破棄について認め、2人の解雇とはつきり言い出している。第三回目の団体交渉に向かっている。

森オフ：働き続けたいという意志には変わりがないので、よろしくお願います。



⑦『分会会議・分会活動を基本にねばり強くがんばろう』

みなと福祉会分会 河辺恵地本委員

最近うちの分会では2

仲間とも、お昼休みに踊りや歌に誘われて楽しんでいきます。

一緒に働いているひとに私の紹介をしてもらいます。

久しぶりに新人職員がしおかげ作業所に入り、一躍みんなのアイドルになりました。

仲間にも職員にも大人気です。歌ってよし！踊ってよし！笑ってよし！そして食べっぷりよし！何をさせても明るさに満ちています。原さんが組合にも持ち前の明るさを全面的に出してくれているおかげで、会議も楽しく進めることができます。

みなと福祉会にも新しい風がふいています。

春闘もがんばるぞー！

09春闘に向かって!!

人の新しい仲間が増えました。その中の一人は10年目の職員さんで、「ちょっと遅すぎたかな」と本人は言っていました。分会は加入に力づけられました。

分会員全員がさりげなく誘い続けた事がよかったです。います。自分たちの権利を主張することが障害者のよい生活を作る上で必要と改めて感じる。春闘の要求書作り毎年大変だけれど、多くの人の意見を丁寧に吸い上げていく大切さを感じると自分の力になる。職員アンケートを集約している。仕事のグチを聞くなど信頼関係をつくるきっかけになっている。すぐに組合加入につながらなくても地道な活動は大切かなと思う。障害職場も大変「春闘2万円アップ」すごいなー。私たちも強気で行かなくてはと思われる。仲間がいるってうれしいなと思える地本であってほしい。

⑧『団体交渉の報告』

社会館分会 畠田千栄子地本委員



昇級昇給システムについて1年間休止していたが、09/1/20に協議会が行われて討議再開。理事会は3/26に方向確認して

4月から導入したいかまえ。管理職とそうでないものの2つの給与表。3/9に全員団交する。この事について組合側は人事考課という見解。理事会は素晴らしい給与表としている。また、08春闘/秋闘で、デイの研修費25000円と、有給の時間休を獲得した。09/4から実施。また、09年4月から社会館分会の服部分会員が3年間で籍専従で格付けのままであることを団交で確認できた。

⑨『中央委員会に参加して報告』

池内 うちべ 宇都宮オフ



中央委員会に出、中央09春闘の討論に参加してきた。「新しい保育の仕組み」をどうとらえるかの発言もあった。全国の仲間の話で、東京では名古屋以上の民営化があり、交流会をしたこと。京都ではプール制の削減が提案されている。5億円カットされたら、100人の正規職員の賃金の7%がカットになるという。名古屋でもし、民調が削減されることになったらどうするのか？東海地本でもストライキとは何か？から始めて議論を重ねて頂きたい。

⑩『職対部として方針案と統一要求の補



強』職対部 安藤執行委員

メンタルヘルスの休業者がふえている。産業医や安全衛生委員会の設置を求め。今年の職場調査では5年前に比べ働き方がむしる悪くなっているという結果を小野先生から報告された。「笑いのある 職場」がキーワード。過密労働は良くない。人と直接かかわる福祉職場は働く人が心身健康でなければいい実践はできない。09年春闘で、各分会から産業医要求を出して欲しい。今回の産業医巡視では体制を確保して分会からも巡視に参加できたところがあった。6月に産業医の太田先生を講師に学習会をしたい。



公立保育園をなくさないで！直接請求署名は

署名が 133,901筆
受任者は 10,597人

で署名期間を終えました。みなさんご苦労様でした！法定必要数を大幅に上回り、これから本請求となります。署名された方の圧倒的多数の『公的福祉の拡充』の思いが生きる市政実現につながるよう、福祉保育労働者として、市長選にも取り組みましょう。

名古屋市長選挙 市長候補 太田義郎氏 青年部インタビュー



2月21日（土）青年部合宿にて、市長選に立候補している、太田よしろうさんにインタビューをしました。今の私たちの思いを話し、それに真剣に答えてくださいました。また、太田さんの市長選にかける思い、名古屋市長を良くしたいという熱い思いを伺うことができました。（記事内敬称略）

日本一の福祉名古屋復活を!!

西岡：はじめまして。なぜ立候補しようと思ったのですか？

太田：私は米屋の息子。もともと勉強が好きだったので、学校に行きながら米屋を手伝い、大学も昼間行けないから夜行っていた。大学や大学院に再度入学し、家族論・市民社会論や憲法などを学び、米屋の業者団体の運動や、障害者運動を続ける中で様々な事を学んできた。

私達が昔、乳幼児医療無料化・老人医療無料化の運動と共に「ポストの数ほど保育所を」という運動をやった。

本山革新市政の時代にこの運動が結実して、公民の格差が無いようにという、全国に誇る制度も含め、今の名古屋の保育が確立してきた。それらの成果がだんだん崩れてきている。残っているのは、保育園の公民の水準を保つことと、敬老パスだけ。日本一の福祉と言われた名古屋。けど、日本一でなくなり、ドベから数えた方が早いくらい。

勉強したこと、運動してきたことの自分の人生の集大成として、どうしても、もう一度僕が若い頃やって作ってきた『日本一の福祉、名古屋』にしたい。その先頭に立って闘いたい。名古屋市政を暮らし・福祉・教育にお金がまわるぞという市政に。市長が変われば手取り早い。だから市長になろうとした。自分達の作ってきた日本一の福祉を復活させたい！

成田：市長になったら、まずどこから手をかけたい？

太田：4大プロジェクト1000億円の無駄遣いをやめれば、いろんなことが、できるよというの、僕の政策。

僕が市長になるといことは、公立保育園の廃止・民営化反対が支持されたということ。教育・

暮らし・高齢者の医療・病院充実にお金をかけて欲しいということが、支持されたということ。それを掲げて、立候補している。日本一の福祉をめざします。

西岡：かっこいい！

太田：僕が当選しないと、すぐに民営化になるよ？誰もそんなこと掲げていないからね。

酒井：生きていくために本当に安心するには、何が必要なのだろうか？

太田：子育てと老後の不安がなくなれば最低安心できる。

スウェーデンでは子育てと老後には1円もお金がかからない。そうすると少なくとも生きる事については安心して、子どもを育てられる。

心のかような政策をやりたい！

宮田：市交渉などに来て私たちに会ってくれますか？

太田：それは、もちろん！

今は、絶対会えない。偉い人は会わないんです。

やっぱり、本当は、労働している人と一緒に働きたい。実際体験して、労働している末端の人たちがどんな思い・苦しみなのかで、仕事をしているのかをトップが知らない僕は、本当

に心のかよった政策はできないと思う。

現場は、悲しみ苦しみが直にわかるから、要望には応えたい、でも上は書類だけをみて予算を削ってくる。そうすると板ばさみになるのは、現場の人。

そこを理解できないようでは、政治をやる資格はないんじゃないかと思う！

（インタビューより抜粋・要約）



【編集後記】

青年部の合宿で太田よしろうさんとお話をしました。疑問に思うことや要求をじかに聞いてもらえました。でも市長ががんばるだけじゃ世の中は変わっていかない!!これからもみんながんばっていいね!!そして、今年のバレンタインからの1週間は署名ウィークでした。やらなきゃと思いつつも、なかなか進まなかった署名でした：（すみません）でも、残り1週間!!署名集めパワーに火がついてがんばりました。保育園のそばや家の近くの地域を周って、83筆集めました。始めは「瑞穂区だけか…」と

おわりに

太田さん、貴重なお時間を割いていただき、本当にありがとうございます。市長にかける熱い思いをたくさん感じることができました。このインタビュー以外にも、たくさんのお話を聞くことができました。「僕が市長になったら、透明にする。情報はずべて公開する。」という言葉に、力強さも感じました。

私たちも、周りの人に呼びかけ、太田さんが市長になるよう応援していきたいと思いました。そして、「若者の希望がもてる名古屋市にしてほしい！」という私たちの思いもたくさん伝えることができました。

楽しく、たくさん学ぶことができました。ありがとうございました。（青年部事務局）

思っていたけれど、そんなことも言っていられない。子どもとき以来疎遠になっていた家の周りに行ってお話すると「大きくなっただね」「がんばっているね」など声をかけてもらい署名も快くやってくれました。また、中学のときの友だちにも久しぶりに電話してみると「いいよ」との声。長らく会っていないのにそのころのことやがばーっと思いつつも、話に花が咲きました☆☆そして、久々に集合する約束までしちゃいました。そんな機会を与えてくれた署名に感謝しちゃうくらいです。（集めるのは大変だったけど…ね）（苗）